2026 年 6 月
横浜市立市民病院　緩和ケア病棟

横浜市立市民病院　緩和ケア病棟ご案内

　緩和ケア病棟では、患者さんが「その人らしく」穏やかな毎日を過ごすため、身体や心のつらさをやわらげることを目指しています。
　「その人らしく」とは、患者さんが今まで歩んできた生活の中で、大切に思っていたことを可能な限り実現できるようにすることだと考えています。

- ✧ 当院の緩和ケア病棟では、手術や抗がん剤治療などの、がんそのものに対する治療は行いません。**病状の進行による身体的・精神的なつらさに対して症状緩和を目的としたケア**が行われます。患者さん・ご家族にとってつらい症状の緩和を、専門的な知識をもとに提供しています。
- ✧ **心電図モニターによる観察、急変時の心肺蘇生、人工透析の継続は行っていません。**
- ✧ 緩和ケア病棟では、患者さんやご家族の方を医師や看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、看護補助者、ボランティア、地域連携医師など、多くの職種のスタッフがサポートする体制を整えています。

2026 年 6 月
横浜市立市民病院　緩和ケア病棟

緩和ケア病棟の概要

ご自宅により近い環境で療養生活を過ごすことが出来るように、**全室個室**となっています。病棟内に宿泊可能な家族室やキッチン、多目的ラウンジなどの施設を完備しています。

1. **運用病床数**　２５床（有料１２床・無料１３床）
2. **差額室料**　14,960 円/日　税込
   ※入院時は差額室料が必要になります。無料個室へのご案内は、病棟から順番にお知らせいたします。
3. **病室設備**
   電動ベッド、トイレ、テレビ、冷蔵庫、ソファベッド、クローゼット

4. 病棟設備

多目的ラウンジ、家族用キッチン、家族室、特殊浴室、一般浴室

2026 年 6 月
横浜市立市民病院　緩和ケア病棟

緩和ケア病棟に入院するには？

緩和ケア病棟への入院に際しては、**悪性腫瘍もしくは後天性免疫不全症候群による身体的・精神的な苦痛があり、緩和ケアが必要と診断されている**ことが前提となります。そのうえで、患者さんが病名や病状を理解し、緩和ケアについての希望を伝達でき、家族の方が入院を希望されていることが必要となります。**入院を希望される患者さんは、緩和ケア病棟入院面談（完全予約制）をお受けいただく必要があります。**

お申し込みの流れ

①　「緩和ケア病棟入院面談（完全予約制）」申し込み

紹介患者予約センターで予約を受け付けています

電話０４５－３１６－６５４１　　受付時間　平日９：00－17：00

※当院に直接ご来院の場合は、病院１階がん相談支援センターにお寄りください。

受付時間　平日９：00～16：30

②　資料請求：下記のいずれかの方法で必要な資料を取り寄せて下さい。

- ✧　横浜市民病院ホームページからダウンロードし印刷
- ✧　ご来院の場合、がん相談支援センターで配布

電話 045-316-4580 代表（平日 10 時～11 時 30 分 14 時～15 時 30 分）

③　面談日当日には、下記書類を持参して下さい。

- ✧　**「緩和ケア病棟入院面談　申込書」**
- ✧　**「緩和ケア病棟入院面談　問診票」**
- ✧　**当院以外の医療機関におかかりの患者さん：「診療情報提供書」**
  当院の患者さんは、「診療情報提供書」は不要です。緩和ケア病棟入院申し込みについて担当医にご相談ください。

「緩和ケア病棟入院面談」の料金について

「緩和ケア病棟入院面談」は保険診療で行います。

他院入院中の患者さんが来院して面談する場合や、代理受診（患者さん本人が不在）の場合は、保険診療対象外となりますので 11,000 円の費用が発生します。ご了承ください。

2026 年 6 月
横浜市立市民病院　緩和ケア病棟

緩和ケア Q&A

Q 入院しても、家に帰れますか？

緩和ケア病棟では、身体（からだ）や心のつらさを和らげることや全身状態の管理を中心に診療を行ってまいりますが、患者さんのつらい症状が緩和され、全身状態が良いなど病状が安定してきた場合には、退院調整が開始されます。また患者さん又はご家族が希望されるときも退院することができます。

なお、がんの縮小あるいは治癒を目標とした治療を希望されるとき、あるいは、がん以外の病気（併存疾患）を有し、その治療を優先する必要があるときは、退院していただくこともあります。

いずれの場合においても、緩和ケア病棟入院中の診療情報の提供を行い、在宅療養の担当医師や転院先の病院と連携していきます。

Q 本人は入院を嫌がっていますが、一人暮らしなので家族は入院させたいと思っています。入院できますか？

緩和ケアで行われるケアは患者さんの意思や希望が最大限尊重されます。ご自身が入院を希望されていない場合は入院をお受けできません。

Q 本人に病状を伝えてきましたが、高齢と軽い認知症の為、すぐ忘れてしまいます。入院できますか？

緩和ケア病棟では、患者さん本人が病名や病状を理解しており、緩和ケアについての意思や希望を伝達できることを原則としています。患者さんが入院を拒否されている場合は入院をお受けすることができませんが、外来診察時に状況をうかがった上で判断させていただきます。なお徘徊される、大声をあげる、暴力行為を行うといった場合や他の患者さんの生活に影響を与えると判断された場合は、入院をお受けすることができません。

Q 意識がない状態なので、特に苦痛の訴えはありません。家で世話することができないので、入院施設を探しています。入院できますか？

緩和ケア病棟はつらい症状の緩和を目的としている為、介護目的の入院はお受けできません。ただし、家族の介護負担軽減目的で、入院期間を決めたレスパイト入院は受け付けております。

Q 点滴、血液やレントゲンの検査は行わないのですか？

つらい症状を緩和する目的で行うこともあります。緩和ケア病棟で提供する医療やケアは、患者さん・ご家族の希望を含め十分話し合って行います。

Q 入院中にほかの病院へ通院して治療できますか？

緩和ケア病棟はつらい症状の緩和を目的としているため、他の医療施設で治療を希望される場合は一度退院していただきます。

Q 補完代替医療は受けられますか？

医療行為を伴う補完代替医療のお手伝いは出来ません。補完代替医療を緩和ケア内科で提供することはありませんが、患者さんがすでに行っている場合は、入院面談時にその内容をお知らせください。

Q 症状が良くなれば元の病院で治療を行えますか？

緩和ケア病棟入院中は、がんそのものに対する治療は行いません。ご希望があればもとの病院での治療は可能ですが一度退院していただきます。

Q 放射線治療は受けられますか？

痛みやその他の苦痛症状を緩和するための放射線照射については、患者さんの状態により実施します。

Q リハビリは受けられますか？

機能回復を目的とした専門の理学療法士が行うリハビリは行っていません。
患者さんの QOL（人生と生活の質）を高める目的で、患者さんの状態によってリハビリを受けることは可能です。

Q 外出・外泊はできますか？

患者さんやご家族のご希望があり、感染状況を考慮し、医師との相談のもと可能です。